



# 実業科導入など型破りな発想で 高校改革や人口対策を

石原武志 議員

**町長** 地元就職者が増える職場づくりをめざす



**問** 新卒者などの若者流出防止対策やイターン増加対策の一つとして最近話題に上る高校改革、横田高校に実業科、例えば畜産科や農業科等を新設し「一味違った」特色ある高校に再編する考えはないか。

**答** 高校の維持や生徒増加を図るには学力の向上と共に特色ある教育の展開・部活動に於ける競争力の向上など魅力化活性化を図ることが重要である。中山岡地等の高校のそれらについては新たなコーディネートターの配置や通学費の助成、各種支援を行っている。一方農林高校等の実業高校は定

員割れをし、本町の中学校から農業高校への進学者は5年間で一名という状況である。そうした中で畜産科等専門科の新設は考え難い。そんな中でも新卒者の地元企業への就職ができる職場づくりを目指し頑張りたい。

**問** 農業科にこだわらないうが改革はしていかなければならないと思う。人口減の中での方策として高校生・イターン等を考えるが募集はどうか。

**答** 都会地から横田高校に受け入れ将来定住してもらえようという町づくりをしていきたい。実際2名の受験者が今年あるが大切にして共に守ってきたい。

**答** 安部教育長  
横田高校自身が魅力的で活性化された学校にすることが一番と思っっている。教職員が本気になって取り組みをすること、生徒自身が進学やスポーツ・芸術活動の向上に取

り組む事、その事の認識を深めることが大事と思う。その実現には教育委員会として支援することは多々あると思うし、魅力的で活性化された学校にするよう努めていきたい。

**問** イターン拡大や定住促進のため相談窓口やアフターケアはどのように対応しているか、また、産業別の就労支援はどのように進んでいるか。

**答** 森長地域振興課長  
課に定住支援員を置き相談や苦情の対応をしている。アフターケア等多様化するライフスタイルのニーズに対応することは行政だけでは不十分な面もある。就労支援にはホームページに「おきいずもん」という定住サイトがあり、就労、就農等の項目を設けている。

**答** 丹木農業振興課長  
新規就農支援として短期農業体験研修や準備型・経営開始型があり25年度

社会人×高校生「働くことって何？」

横田高校魅力化プロジェクト第1号より

横田高校魅力化プロジェクト第1号より

から4名が支援を受けている。他に雇用受け入れ側にも支援制度がある。認定農業者とタッグを組み人材育成のため7名の地域おこし協力隊を募集している。

**問** イターン者は背水の陣、帰る処を持たずしての移住でありその対応には十分な理解と真心が必要と思う。行政でできない部分はNPO法人等の育成や支援により不足を補うべきと思うが。

**答** 議会や町民とともに「本当に住みたい町」をめざし全力投球する。